

2009年上半期 [1月～6月] コンピュータ不正アクセス届出状況

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：西垣 浩司）は、2009年上半期 [1月～6月] のコンピュータ不正アクセスの届出状況をまとめました。

2009年上半期の届出状況から、最近の傾向として、

- SSHで使用するポートへの攻撃を受け、侵入される被害が多い
- ソフトウェアの脆弱性を突かれたりパスワードクラッキング攻撃を受けたりしてサーバに侵入され、ファイルを改ざんされたり不正なプログラムを埋め込まれて他サーバへの攻撃の踏み台にされたりする被害が多い
- 本人になりすまされて会員制サイトにログインされ、不正使用される被害が多い

と言えます。以下のサイトを参考にコンピュータセキュリティ設定の徹底及び日常の運用管理によるセキュリティ対策を継続するよう心がけてください。

- IPAセキュリティセンター・個人ユーザ向けページ

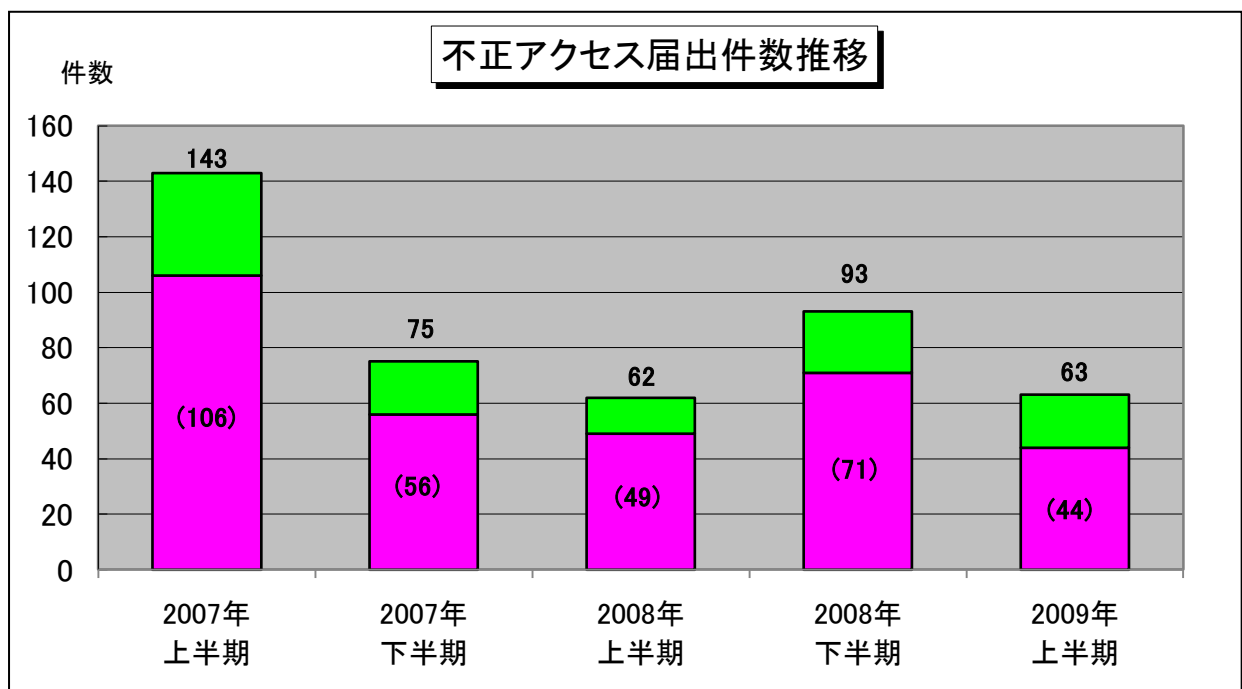
<http://www.ipa.go.jp/security/personal/>

- 情報セキュリティに関する啓発資料

<http://www.ipa.go.jp/security/fy18/reports/contents/>

1. 届出件数

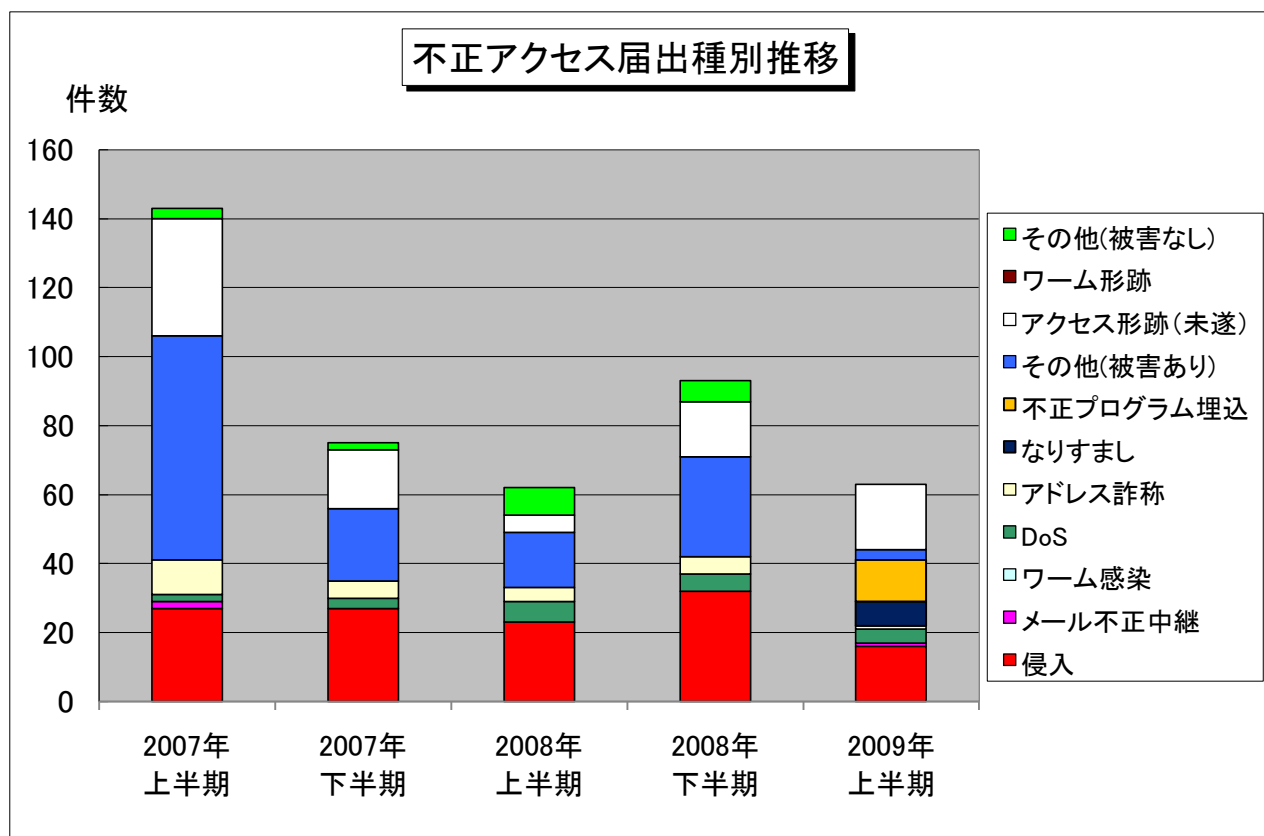
2009年上半期（1月～6月）の届出件数は合計63件であり、30件の減少（先期比約68%）となりました。被害があった件数は27件減少（先期比約62%）となりました。



注) グラフ中の () 表示は、届出総数のうち被害があった件数を示しています。

2. 届出種別

IPAに届けられた63件（先期93件）のうち、実際に被害があった届出は44件（先期71件）と全体の約70%を占めました。実際に被害に遭った届出とは「侵入」「メール不正中継」「ワーム感染」「DoS」「アドレス詐称」「なりすまし」「不正プログラム埋込」「その他(被害あり)」の合計です。



	2007年 上半期		2007年 下半期		2008年 上半期		2008年 下半期		2009年 上半期	
侵入	27	18.9%	27	36.0%	23	37.1%	32	34.4%	16	25.4%
メール不正中継	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%
ワーム感染	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
DoS	2	1.4%	3	4.0%	6	9.7%	5	5.4%	4	6.3%
アドレス詐称	10	7.0%	5	6.7%	4	6.5%	5	5.4%	1	1.6%
なりすまし	※		※		※		※		7	11.1%
不正プログラム埋込	※		※		※		※		12	19.0%
その他(被害あり)	65	45.5%	21	28.0%	16	25.8%	29	31.2%	3	4.8%
アクセス形跡(未遂)	34	23.8%	17	22.7%	5	8.1%	16	17.2%	19	30.2%
ワーム形跡	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他(被害なし)	3	2.1%	2	2.7%	8	12.9%	6	6.5%	0	0.0%
合計(件)	143		75		62		93		63	

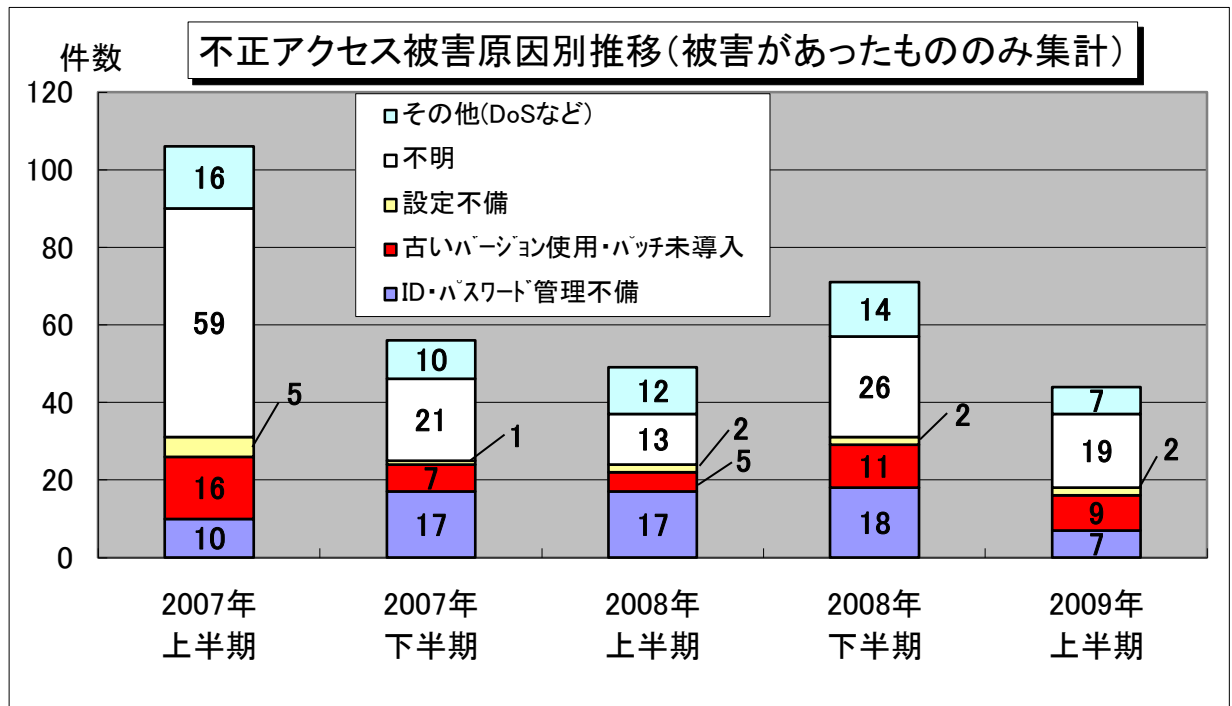
注) 網掛け部分は、被害があった届出種類を示しています。

割合の数字は小数点第二位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

※2008年下半期までは、「なりすまし」「不正プログラム埋込」は「その他(被害あり)」に含まれます。

3. 被害原因

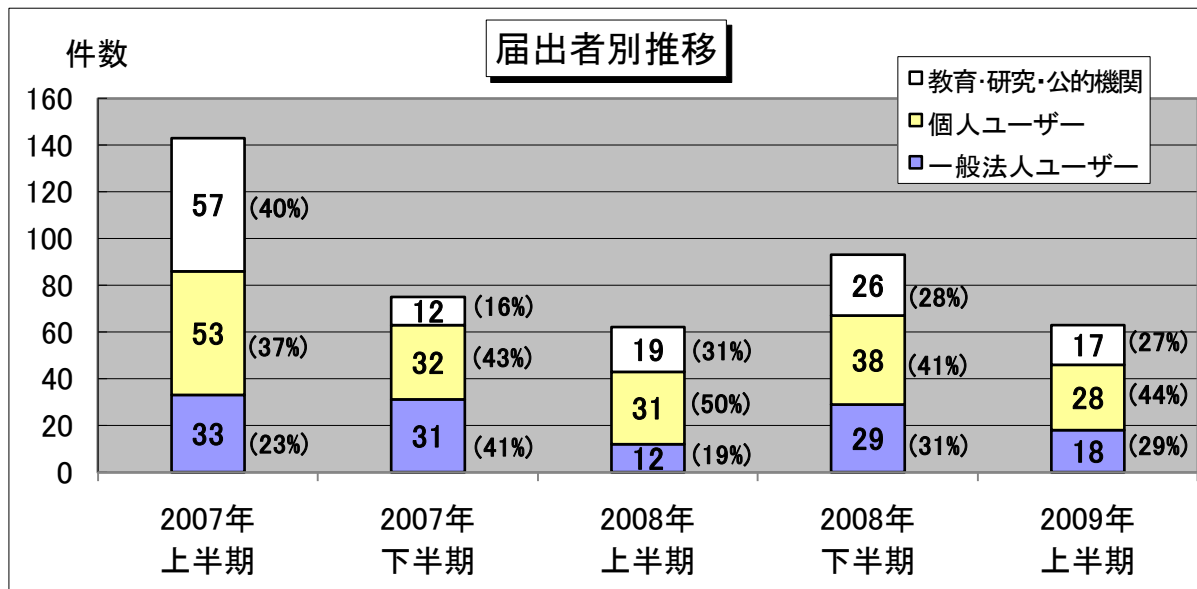
実際に被害があった届出（44件）のうち、原因の内訳はID・パスワード管理不備が7件、古いバージョン使用・パッチ未導入が9件、設定不備が2件、などでした。



注) 被害原因が複数あった届出については、1件の届出につき主たる原因を代表として1件と集計しています。

4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、以下のようになっています。



注) 割合の数字は小数点第一位を四捨五入していますので、合計が100%ちょうどにならない場合があります。

■お問い合わせ先
 IPA セキュリティセンター 加賀谷/花村/大浦
 Tel:03-5978-7527 Fax:03-5978-7518
 E-mail: isec-info@ipa.go.jp